

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-12 □支援部門 人権啓発事業									
主管課	人権・男女共同参画課	関連課	教育指導課、生涯学習課、職員課、人権・男女共同参画施策推進連絡会の構成課							
分野名	平和・人権									
目標 (目標値)	「かまくら人権施策推進指針」に基づき人権施策を推進する。									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考					
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	2,736	2,813	3,038						
	(国・県)	350	350	350						
	(負担金等)									
	(一般財源)	2,386	2,463	2,688						
	人員配置数	1.0	1.0	1.0						
	人件費(千円)	8,583	8,852	9,232						
事務事業 運営経費	協働の パートナー	鎌倉市人権擁護委員会・神奈川人権センター・横浜国際人権センター		鎌倉市人権擁護委員会・神奈川人権センター・横浜国際人権センター		鎌倉市人権擁護委員会・神奈川人権センター・横浜国際人権センター				
	総事業費(千円)	11,319	11,665	12,270						
	市民1人当 りの経費(円)	64	66	70						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	横浜市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市	横須賀市	三浦市			
	神奈川人権センター	2,200,000	400,000	150,000	200,000	600,000	150,000			
	横浜国際人権センター	2,200,000	400,000	200,000	200,000	950,000	150,000			
	鎌倉市人権擁護委員会	2,550,000	433,000	168,000	149,000	573,000	114,000			
指標		評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
市主催研修会開催回数		◎	目標値	3回	3回					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	3回	3回					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。			②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。			④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)			⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
人権啓発事業	2,736千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要	人権意識啓発のため、講演会開催等の啓発活動を行った。また、鎌倉市人権擁護委員会及び人権尊重を県民に訴える活動を行っている団体の活動を支援した。									
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	多くの市民に人権意識を普及させるため、人権相談、人権ホットライン等の相談窓口のPRや市主催の人権研修会等への参加を広く呼びかける。
課題解決のための取組	街頭啓発活動や人権横断幕の掲示、人権啓発講演会の開催等により、広く市民への人権意識の啓発に努めた。人権擁護委員による人権相談等により、困難を抱える人への支援を行った。
未解決の課題	さらに人権意識を普及するために、市主催の人権研修会等への参加者を増やしていくことが課題である。
今後の方針	「かまくら人権施策推進指針」に基づく人権施策をさらに推進させるために、さまざまな機会を捉えて多くの市民へ人権意識を普及させる。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ B ※ □事業完了 課長名 植地由美子

